

会 議 録

会議名	平成21年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成21年7月10日(金) 午前10:00～午前11:55
開催場所	丸亀市役所 別館3階第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡 千枝 田中 豊 三宅 耕三 石原 茂</p> <p style="text-align: center;">河田 博之 長尾 正美 溝淵 由美子</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">柴田 潤子</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 宮崎 弘俊 企画課長 大喜多 章親</p> <p style="text-align: center;">財政課長 大林 諭 企画課行政改革推進室長 矢野 律</p> <p style="text-align: center;">企画課副課長 小山 隆史 企画課主査 村山 智彦</p>
議 題	<p>1. 昨年度の行政評価委員会からの意見・提言等を踏まえた市の取組状況について</p> <p>2. 平成21年度の評価方法等について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
議事の進行及び発言の要旨	<p>・企画課長（議事までの進行）</p> <p>おはようございます。只今から行政評価委員会を開会いたします。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。まず初めに、3月末で前企画財政部長の直江が退職いたしましたので、後任の宮崎より皆様にごあいさつ申し上げます。</p> <p>・企画財政部長あいさつ</p> <p>おはようございます。4月に企画財政部長に着任いたしました宮崎と申します。どうぞよろしく願いいたします。田中委員長はじめ委員の皆様方、それぞれ大変お忙しい中にもかかわらず、この会にご参集いただきまして改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。丸亀市の行政評価は今回で3回目で、その内、外部の委員さんに評価していただくのは2回目となりました。市としての対応も徐々に進歩していると思っておりますが、評価制度が十分に、うまく機能しているというところまでには至っていないのではないかと感じております。評価の結果によって改善し次の計画に反映するためには、我々がもっと研さんを積んでいかなければならないことがあろうかと思っております。評価の結果が市の今後の施策の方向性を定めていく判断材料になるということで、この委員会には大変重要な役割を担っていただいております。客観的に評価をしていただき、忌憚のないご意見をいただけたらと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。</p>

企画課長	<p>本日出席の職員を紹介いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席職員紹介 <p>事前配布資料を確認いたします。</p> <p>【資料1】平成20年度行政評価委員会からの意見・提言等を踏まえた市の取組状況</p> <p>【資料2】平成21年度 施策評価（1次評価）結果一覧</p> <p>【資料3】平成21年度 事務事業評価（1次評価）結果一覧</p> <p>【資料4】平成21年度の評価方法及びスケジュールについて（案） 「丸亀市行政評価委員会の運営について」</p> <p>それでは、田中委員長に議長をお願いして、只今から議事の進行に入りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
田中委員長	<p>皆さん今年もどうぞよろしくお願いいたします。先程、企画財政部長からもお話がありましたように、この委員会としては2年目となります。一朝一夕にはなかなかうまくいかない面もあるかと思いますが、是非政策について評価のサイクルを入れることによっていい形をつくり、何がしかのお役に立てればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、只今から会議を進めさせていただきます。本日の議事は次第にありますとおりでございます。まず議事（1）の関係につきまして事務局より説明をお願いいたします。</p>
企画課副課長	<p>《【資料1】平成20年度行政評価委員会からの意見・提言等を踏まえた市の取組状況》に基づき説明》</p>
委員長	<p>只今、事務局より説明がありましたが、確認したいことや質問したいことがありますらお願いします。なお、私も何点かありますが、もう少し細かい資料がほしいという場合は、この質問シートに書いて提出すれば、次回までに準備していただけるということでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>はい、事業や施策について、また今回報告させていただきました内容も含めまして、色々ご質問をいただきたいと思います。そして今回、皆さんにお持ちいただいたご質問等につきましては、所管課の確認をとりまして、次回の会議の前に回答をお送りしたいと考えております。それ以外にも追加でご質問などありましたらおっしゃっていただければ、会議の当日に回答できるのではないかと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>この点で何か今、確認なりご質問がありましたらお願いします。</p>

溝淵副委員長	<p>前回の会議に出席していないのでよくわからないのですが、先程の説明にごみ収集等のところで「委員会として統一した意見をいただきました。」とおっしゃっていましたが、あれは統一した意見だったのでしょうか。時間が足りなくて色々なことについて、統一できていないことも書いてしまったようなところがあったように思います。</p>
企画課副課長	<p>おっしゃるとおり様々な意見をいただきまして、できるだけ委員会として統一した形で提言ができればよかったですのですが、中にはそれぞれの意見をそのまま提言中に盛りこんだところもあります。ただ、ごみの収集につきましては、この委員会でも色々議論しまして、ある程度意見を集約させていただいたと思います。</p>
委員長	<p>事務局の言われたようなことだったと私も理解しています。最終的には文章の文言についても全員の方にお目通しいただいたと思いますがいかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>私は最後の会に来ていなかったのでよくわからない部分があるかもしれません。</p>
委員長	<p>欠席されていた委員の方も含めて最後に文書で確認したと思います。</p>
企画課副課長	<p>第4回の委員会で細かい部分を修正して、報告書(案)を皆さんにお送りさせていただいたと思います。</p>
副委員長	<p>私も対応の仕方が悪かったところもあり、言いそびれたこともあったかもしれないと反省しました。</p>
委員長	<p>前回の意見は資料のとおりでしたが、今回は市の取組状況等について更に色々意見をいただけたらと思います。 他にありませんか。</p>
長尾委員	<p>市長及び議会に報告したということですが、その辺の反応がどうなのかちょっと気になります。</p>
企画課副課長	<p>市長には委員長・副委員長と一緒に意見書を提出させていただきました。また、内容について特に重要なものについては、その場で委員長・副委員長から市長へ提言させていただきました。</p>
委員長	<p>市長への報告については私から申し上げます。最後の委員会のときに、「『評価を多大な時間をかけて行ったということ』と、また『報告を重く受け止めて真剣に取り組んで欲しいということ』を市長に是非言ってください。」というのが、私と副委員長が市長に会いに行くときの皆さんからのご要望だったと思います。30～4</p>

委員長	0分程お話しさせていただいて、その点について伝えるとともに、特に委員会で出たご意見については、私と副委員長から要旨を話しました。そして市長からは、「ご苦労様でした。」ということと、「重く受け止めてしっかり取り組んで行きたい。」という話がありました。
企画課副課長	議会には新市建設特別委員会で、1次評価・2次評価も含めて外部評価報告書を説明させていただきました。委員の方の中には、既に丸亀市のホームページをご覧になられた方もいらっしゃいまして、会議録などを見て、「短期間でかなり大変な作業をしているんだな。」ということをおっしゃっていました。
企画課長	昨年、議会への報告は特別委員会で行ったのですが、特に、現状のまま継続しないものについて一覧表にして提出しました。その時に報道関係者も来ていまして、翌日の新聞に電子自治体の廃止について報道されたことがありました。
岡委員	今、企画課長がおっしゃっていました電子自治体の廃止ですが、廃止することによって色々な問題やご意見はなかったのですか。
企画課長	元々、利用が少なかったこともございまして、特に問い合わせ等はなかったというのが現状です。これについては県議会でも話があったようですが、県でもやり方を変えて、今年の4月からコストを少し落とした形でスタートをしています。丸亀市はそれには現在参加していませんが、その利用状況によって今後検討していきたいと思っております。
委員長	他にはございませんか。 それでは次に、議事(2)の平成21年度の評価方法等について事務局より説明をお願いします。
企画課副課長	《【資料2】平成21年度 施策評価(1次評価)結果一覧》、「【資料3】平成21年度 事務事業評価(1次評価)結果一覧》、「【資料4】平成21年度の評価方法及びスケジュールについて(案)》に基づき説明》
委員長	ありがとうございました。とりあえず「【資料4】平成21年度の評価方法及びスケジュールについて(案)》について、ご意見及びご質問をお伺いしたいと思います。
石原委員	資料4の事務事業の評価方法についてですが、我々としては167項目全てを熟知して正確に判断するというのは恐らく不可能だと思います。自分の得意とする分野があるわけで、私が特に苦手なのは、教育問題・農林水産業・港湾施設です。この辺りは全く未熟なわけです。それを改めて勉強するとなると、色々な方にお伺い

石原委員	<p>したり、また関係課へ行って確認したりと膨大な作業が必要になってきます。それが得意な分野ですと、これは評価が2.5であるとか、またはこれは0だとか、はっきりと自信を持って判断できるわけです。得意でない分野については、右に倣えになってしまいます。そこで、この167項目について得意な分野があるのかわからないのか皆様方にお聞きしたいと思います。</p>
委員長	<p>今の意見についてはどうでしょうか。最終的には施策の41項目について評価するわけですね。</p>
企画課副課長	<p>そうです。点数を入れていただくのは施策単位になりますので、昨年と同様41の施策です。ただ施策においても、それぞれの委員さんがよくご存知の施策もあれば、そうでない施策もあろうかと思えます。そのために、施策の指標・事務事業の指標を付けています。これを参考にして、また所管課の所見などを参考にして点数を付けていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>それと、昨年は施策の中には指標が2～5個あるものは、全ての指標について、指標の数字だけで点数を付けていただき、その施策内での指標の平均点を出して、その合計点でA～Dの判定を行ったと思えます。それですと指標の数値だけが基準となってしまいます。それ以外にも、それぞれの施策について色々ご意見があろうかと思えますので、今回は施策そのものについて点数を付けていただけたらと考えております。</p>
委員長	<p>そうすると、事務事業の167項目ベースでの細かな採点の責任までは負わなくてよいという形にさせていただいたということですね。この辺りいかがでしょうか。</p>
三宅委員	<p>我々が、プロであるという前提で参加しているのか、単なる市民として参加しているのかによろしいと思えます。私も昨年、専門分野ごとに分けた方がよいという案を出したことがありました。しかし今おっしゃった通り総合的に判断すると、あまり深く評価できないものが半分以上あると思えます。ですから、単なる市民として参加しているという認識で評価するのであれば、それはそれでよいのではないかと私は思えます。</p>
石原委員	<p>そうすると、予備知識も何もなく右に同じという点数が結果的にA評価になるわけです。ですから昨年はA評価が多くなっています。本当のA評価とよく分からないから結果的にA評価になったものと2種類あったと思えます。その点をどうすればよいかということで意見させていただいたわけです。ですから我々全員が合意の上で、よく分からないものはA評価であると決めるのであればそれはそれでよいと私は思えます。</p>
委員長	<p>ある程度得意な方と不得意な方がいる中で、最終的に全員のものを合算すると</p>

委員長	<p>いう形で、委員会としては全体として大きくとらえ、評価するとなると、この方法になるのかなと思います。あとは、委員からの申し出で特定のものはパスをする、つまり「評価しない」ことですかね。</p>
石原委員	<p>委員会としての意見を正確に出すとすれば、「評価しない」という制度も必要だと思います。</p>
企画課長	<p>先程、三宅委員さんがこの委員会の役割について触れられたかと思いますが、8名で構成されておりまして、半分は専門的な視点で、半分は公募委員ということで市民目線で見えていただくということを私どもは目的としております。行政が行っていることと市民目線とのズレを幾つかでもなくすというのが、この行政評価委員会の役割だと思っております。ですから、そういったことも考えていただいて、評価方法についてはこの委員会の中で決めていただければいいと思いますが、先程委員長がおっしゃった評価しないものをつくると、例えば8名のところを7名にして平均を出すといったような色々な方法があるかと思いますが、それで委員会の評価としてまとめあげるかどうかというのは議論していただければと思います。</p>
委員長	<p>私も誤解のないように申し上げますが、決して評価しないのがいいとは思っていません。ただし、今の合算して行うという形を変えんとするならば、申し出により特定のものは評価しないやり方しかないのかなと思ったのです。</p>
石原委員	<p>専門分野については意見を提言できますが、分からない分野については1次評価を容認しなければ仕方がないということになるかと思いますが。</p>
委員長	<p>やむを得ないということでしょうか。</p>
石原委員	<p>この問題については、分からない分野についてA評価になるのかなという懸念が前回からあって申し上げたわけで、ですから分からない分野については1次評価に追随しなければならないということによろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>我々は2次的な評価ですので、1次評価に対してそれとは異なる明確な判断や評価を下せなかったとするならば、結果的に1次評価と同じ形となることもやむを得ない気がします。ですから1次評価がB評価であれば、B評価ということになりましょうし、常にA評価になるというものでもないと思います。この点、色々ご意見や議論がありましたが、基本的には今までの合算方式でよろしいでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p>
委員長	<p>それではこの点はそのようにしたいと思います。</p>

三宅委員	他に何かありますか。スケジュールは大体これでよろしいでしょうか。 この評価作業シートを7月24日までに事務局へ提出するということですね。
企画課副課長	そうですね。今は、個々の質問とか、具体的な資料とかを提供させていただく段階と考えていますが、ただ期間がそれほどありませんので、できる方は今日評価シートをお渡ししますので、平行して評価の方を始めていただいたら良いかと思えます。ですから次回の委員会では、質問に対する回答や説明をさせていただきたいと考えております。正式にはそこで評価作業をお願いするということになりますが、事前に皆さん方で作業を進めていただいていた方が期間もあまりないのでよいかと思えます。
河田委員	<p>作業の進め方についてはそれでいいと思いますが、私が強く感じるのは、今回、前年度の取組状況について関係部署の回答をいただいておりますが、前年度の質問に対して回答になってないところが随分あるということです。我々が色々な意見を提案して担当の企画課から関係部署へ「委員会でこういう意見が出ましたよ。」ということで通知して、その回答をもらってこういう資料にいただいているのだと思うし、前回の評価委員会の際に委員長と副委員長が市長に直接お会いして、我々の意見書を提出していただいていると思うのですが、その先がどうなっているのか全く分かりません。我々としてはその先が大事であって、市民にとっても非常に大事なことなのです。我々が提案したことをいかに具体的に実行に移してもらえるかということが一番の問題であって、ただ点数が何点であるというのは私はどちらでもいいと思っています。</p> <p>それともうひとつは、もう少し早く資料をいただければと思います。資料を1週間前にいただいて、点数を付けなさいということですが、これだけ膨大な資料に対して、先程石原委員が言われたように得意な分野ですとすぐに回答できますが、そうでない分野に対しては難しいと思います。あまり時間をかければよいというものでもありませんが、もう少し資料の提出を早くしていただければと思います。</p>
企画課副課長	今回、昨年に比べて10日程遅れています。それは、こちらの整理が遅れたのが原因です。それで、この第1回の会議で意見を出していただいて、所管課へ確認をして、次の第2回の会議では回答したいということで、大変ご無理をお願いしておりますことをお詫び申し上げますとともに、今後、資料については、できるだけ早くお渡ししたいと考えております。
副委員長	関係課の各担当には、この冊子（平成20年度丸亀市行政評価報告書）が全て渡るのではなくて、担当する部分のページだけが届いているのですか。
企画課副課長	この冊子全部を関係課に渡しています。

副委員長	<p>それで、この資料1については、各担当が回答してきたものを事務局がまとめたというわけですか。</p>
企画課副課長	<p>もちろん、かなり多くのご意見をいただいていたので、左側の質問のところはこちらである程度整理させていただきました。それで所管課で回答してもらって、またその中での的を得ていないようなものについては、内容を補足してもらったり、協議をしながら作成させていただいています。</p>
副委員長	<p>それでは、この冊子に書いてあることで回答していないものについても各担当には渡っていて、それを読んで各担当がどう思ったかについては分からないということですか。</p>
企画課副課長	<p>そうですね。それは、今回、同じような評価作業がありますのでそこで再度提出していただければと思います。</p>
副委員長	<p>この委員会全体としての意見ではなく、個々の意見で出てきたのをそのまま書いてあるものもあります。そういうものを関係課の担当の方がどの程度深刻に受け止めたのかなというのが少し気になりました。</p>
企画課副課長	<p>委員会の意見としてはできるだけ集約した提言のような形にできればいいのかもしれませんが、先程、企画課長が申し上げたとおり市民の目線からの意見とか、専門的な意見とか様々ですので、それを所管課の方で、「市民の方はこう考えている」とか「専門的な意見としてはこういうのがある。」ということ踏まえて判断するしかないのかなと思います。</p>
委員長	<p>私も、翌年度の政策にうまくサイクルさせていくためには、今後この資料1の部分が大変重要になってくるのではないかと思います。したがって、ここにもっと力を入れていくべきであろうと思います。それで資料1を見てみますとよくやっていた部分もありますし、そうでない部分もあろうかと思しますので、それを次の評価のところで、取り組みが不十分なところがあれば、もう一度改めて意見を出す機会がありますので、それはそれで意見を出していくということになろうかと思えます。</p>
	<p>それから溝淵委員がおっしゃっていたように、今回は主なものを取りまとめたのだと思うのですが、昨年出した細かい意見について当局がどのように受け止めているのかを確認したい項目があれば、それは今回の質問シートを使って出していただければよいのではないかと思います。</p>
河田委員	<p>先程、企画課長がおっしゃっていたように市民目線での意見を提供していただければというお話だから、そういった意味では個々の細かい問題についても、当局は、</p>

河田委員	<p>一つ一つ丁寧に回答していただければと思います。</p> <p>個別に申し上げますと、資料1の36番ですが、市長と直接意見交換できる場というのを設けてくれたことがあって、私も直接市長にお会いして提言書を提出しましたが、2年経過しても全く回答がありません。それでここには何と書いてあるかといいますと、「大変有効であったと考えている」という言葉で締めくくっています。市民から提案されたことに対して、市長も現場の意見を大事にしたいとおっしゃっていましたので、やはり一つ一つ丁寧に回答していただくべきでないかと思えます。</p> <p>それと37番の市民活動推進センターの件ですが、私はこれには2年関わっています。これもここでは「早期設置に向け作業を進めたい。」という言葉で終わっています。ですから2年かけて行ってきてまだ出来ていないという実情をどう解決するかということについて、担当部署がどれだけ真剣に考えているかということです。</p> <p>他にも申し上げたいことはありますが、分かりやすく2つの問題を取り上げて申し上げたのですが、そういったことで、せっかくこれだけ委員が集まって意見書を出して、市長にまで提案書を持っていく以上は、やはり具体的に実行に移していった成果が出たかどうかの報告はいただかないと、「やっています。」「取り組んでいます。」というだけではこの委員会を開く意味がないと思います。</p> <p>ですから、この委員会のあり方、あるいはどういう位置づけになっているのかと考えると、もう少し行政と一緒にまちをつくり上げていくための貴重な委員会であるべきではないかと思えます。そういった意味では点数を付けるのは非常に大事ではあるのですが、我々としてはどの事業についても、どこまで具体的に、どの程度まで進捗率があるのかを見て行くのが大事ななという気がします。</p>
委員長	<p>その点では委員の皆さんの思いは同じではないでしょうか。したがって報告書も点数の部分だけではなくて、ここで議論されたこと、あるいは出た提言については全て点数の部分と一体として出すという形にしたわけですね。そのことに対して今回、取組状況として返ってきたわけですので、我々とする、この取組状況について今後一定の議論も必要だと思えますが、場合によっては厳しい評価を再度下し、厳しいコメントを出していくということを粘り強くやっていかなければならないのかなと思います。</p> <p>また私は、この委員会は可能性をかなり秘めている委員会だろうと思えます。この委員会は提言後も引き続き、提言への対応を見守ることができます。</p>
河田委員	<p>委員長と副委員長が市長に提言して、その回答はもう返ってきているのですか。</p>
委員長	<p>ですから、それがこの資料1です。</p>
河田委員	<p>資料1は所管部署の回答ではないでしょうか。</p>

委員長	<p>場合によっては市長の判断を仰いだりする中で、こういう取り組みだということでの回答だと思います。どなたが具体的に書いているのかは別として最終的には市長の回答だと思います。</p>
河田委員	<p>これが市長の回答も併せてということであれば余計困ります。</p>
企画財政部長	<p>もちろん、取りまとめをする前段では、部内なり課内で、部の考え方、課の考え方として、それぞれ管理職も含めた中での回答として出て来ていると私も受け止めています。これを次には総合計画の実施計画、あるいは予算に反映していくのがこの行政評価のシステムですので、こういった回答が来年度の予算に反映されているのかどうか監視をしていかなければならないと思っています。ただ、色々事情があるかと思いますが、ここで出された意見が一気に実現するとは限らないと思います。</p>
河田委員	<p>色々事情があった場合には、その事情を話してくれればいいのに、それをいかにも前向きに出来そうな返事を返してくるからややこしいことになるのです。</p>
企画財政部長	<p>ただ先程の市民活動推進センターについては、1次評価の中でもB判定を付けています。所管課の方でも遅れていると自覚しています。</p>
委員長	<p>中身の評価は色々あると思いますが、形としては今年度の委員会の冒頭でまず資料1のような取組状況をきちんと出してきていただいているのは大変いいことだと私は思います。</p> <p>それから、資料4の2ページの 印のところですが皆さんの評価が今後どのように出ていくのかということと関係するので、もしご意見があればお伺いしておきたいのですが。この趣旨は、色々な評価が出て平均値をとってしまうということで、せめて各委員がどんな点数を付けたかということ報告書には明記していこうということですかね。</p>
企画課副課長	<p>そうです。例えばA判定であってもその中には1点や0点を付けた方もいますということが分かるようにするという事です。</p>
委員長	<p>今回我々のその評価がどう外に出ていくのかということで、分布だけを示して個人の名前は出さないということですが、いかがですか。</p>
河田委員	<p>私の場合は、判定基準とか点数に関しては事務局にお任せしたいと思います。</p>
委員長	<p>私はなかなかいい案だと思います。4人が3点で4人が1点となったときに、結果的には2点という評価が対外的には出ていくわけですが、こんなに意見が分かれ</p>

委員長	<p>たというのが残りますし、ものによっては厳しい評価もあったということが残りますので。</p> <p>他に資料2、資料3含めて何かご質問やご意見がありましたらお願いします。</p>
石原委員	<p>資料2、資料3についてはもう少し内容を熟読して前年度の意見も参考にして提案したいと思います。公共交通等については、ぐるっとバスにレオマワールドから宇多津駅まで一度乗ってみたいと思います。乗り継ぎがどうなっているかとか、乗客に対するサービスがどうだとかいうのを体験してから評価したいと思います。それから飯野山の野外活動センターにしても、実際に行ってみて、土日にもどの位の人が利用しているかを見て評価したいと思います。私の場合はできるだけ時間を費やして現地視察をしていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>事務局も協力できるところは協力するということでよろしくお願いします。</p> <p>他にありませんか。</p>
長尾委員	<p>先程の説明の中で、継続が122、拡大が16、縮小が1、改善が27、終了が1とありましたがこれは資料3の事業の方向のことと考えてよろしいのでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>そうです。</p>
委員長	<p>他にご意見はありませんか。</p> <p>そうしましたら、今年度のスケジュールにつきましては評価方法も含め、今回色々いただいた意見等も踏まえながら、基本的にはこの資料4をベースに進めていきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、予定としていた議題は以上でして、(3)その他のところで事務局から何かありましたらお願いします。</p>
企画課副課長	<p>次回、第2回の委員会ですが、平成21年7月17日(金)14時からこの会議室で行いたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それと本日お持ちいただいた質問につきましては、整理して所管課の方に確認して出来るだけ次回の委員会の前にお送りいたしたいと思います。またそれ以外にもご意見などありましたら言っていただければ、できるだけ当日に回答させていただきたいと思います。それと評価シートも、よろしければ今日お持ち帰りいただけたらと思います。</p>
委員長	<p>それでは、今日の委員会は以上ということで、次回は平成21年7月17日(金)14時からこの会議室にお集まりいただけたらと思います。本日はどうもありがと</p>

委員長	うございました。お疲れ様でした。
-----	------------------